

今週のメニュー

■トピックス

◇テント工連総会全国大会・40周年記念式典に参加して

■随想

◇古代ヤマトの遠景〔番外〕(39)

木下 清隆

■トピックス

◇テント工連総会全国大会・40周年記念式典に参加して

日本テントシート工業組合連合会(テント工連)は2年ごとに全国大会を開催しており、今年は第3回を迎え、6月22日(土)、北海道札幌市のパークホテルを会場として盛大に催されました。今回は、テント工連の通常総会と共に、設立40周年の記念式典が執り行われました。

テント工連は、帆布製品製造業者の事業活動を通じて業界の活性化を目指し1979年(昭和54)に設立され、今年で40年になります。組合は都道府県毎に1組合の組織形態をとっており、会員数は36組合になり、組合員数は704社に上ります。組合には帆布製品製造・販売業者、帆布生地製造業者などの企業が加盟しています。帆布製品には、ポリエステル等の化学繊維と塩ビ樹脂等の複合材から製造されるテント、シート、オーニング等の製品があります。



挨拶するテント工連泉貞夫理事長

テント工連は業界、地域の活性化、イメージアップを促進するため全国大会を開催し、2015年の第1回大阪大会を皮切りに、2017年の第2回金沢大会に続き、今回第3回が北海道大会です。今回は前回の第2回を上回る参加者数で盛会となり、総会・記念式典の間や展示会場では情報交換している場面が至る所にみられ、組合員の連携が強くなってきている様子が窺えました。

テント工連の主な事業として、①会員増加の為に組織強化、②教育、及び情報の収集・提供活動、③各種ラベル配布事業などがあります。

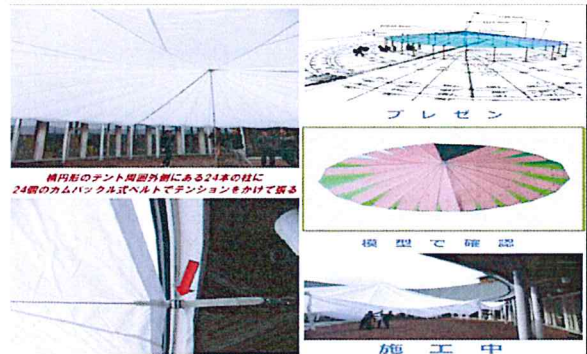
②の関係では、テント工連の下に「青年部会」という組織があり、全国を5つのブロックに分けて、次世代を担う若手が参加して情報共有や勉強会などの活動を行っています。また、「青年部会」は「作品コンテスト」を主催しており、2018年度は第7回の開催になりました(応募期間は2018年11月1日～2019年3月31日、参加資格は青年部会員企業及び青年部準会員企業)。本コンテストは、会員の技能向上、及び青年部会の広報活動の一環として同業各社の作品をコンテスト形式にて募集することにより、テントの可能性及び有効性をテント業界はもとより他業界まで幅広くPRすることを目的としています。今回の受賞作品のパネル展示が本大会の会場内で行われ、大会を盛り上げていました。

次回の大会は2年後の2021年に熊本大会がすでに決まっています。組合の方が連携してさらに盛り上がることを期待しています。

第7回作品コンテスト受賞作品



(1) オーニング・装飾部門
『タコ型テント』佐賀県 (有)川代テント工業



(2) 膜構造・屋形テント部門
『楕円形の中庭テント』北海道 丸富テント工業(株)



(3) 車輦・船舶部門
『トラックオーニング』京都府 西岡テント



(4) サイン・看板部門
『二子玉川サマーライズ』東京都 (有)三鷹テント



(5) 便利・アイデア部門
『はぎれを使った生地カタログみたいな営業カバン』
愛知県 キャンパスライフ(株)



(6) 防災・アイデア部門
『簡易ベッドにもなっちゃうよ!』広島県
総合テント工業(株)

(7) テントに関するキャッチコピー部門
『人生と暮らしに潤いあたえます テントで得られる快適生活』静岡県 (株)ハンブ